

June 6, 2019

【前日の為替概況】ドル円、メキシコへの制裁関税回避の期待感から 108.49 円まで上昇

5日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続伸。終値は108.46円と前営業日NY終値(108.15円)と比べて31銭程度のドル高水準だった。5月ADP全米雇用報告が2.7万人増と予想の18万人増を大幅に下回ったことで、米長期金利の急低下とともにドル売りが優勢となり107.82円まで下落した。しかし、ナバロ米大統領補佐官(通商担当)が「対メキシコ関税発動は必要ない可能性」と述べ、米上院財政委員会のグラスリー委員長が「米国はメキシコに関税を課さない見通し」と発言したことで、米国とメキシコの貿易摩擦への警戒感が和らぎ108.49円まで反発した。5月米ISM非製造業指数が56.9と予想の55.5を上回ったこともドル買い材料となった。

米地区連銀経済報告(ページブック)は「経済は緩やかに拡大した」と総括判断したものの、「製造業には減速の兆しがある」として景気減速への懸念の高まりを指摘した。

ユーロドルは4営業日ぶりに反落。終値は1.1221ドルと前営業日NY終値(1.1251ドル)と比べて0.0030ドル程度のユーロ安水準だった。予想を大きく下回った米雇用指標をきっかけにユーロ買い・ドル売りが先行し1.1306ドルまで上昇した。しかし、欧州委員会が、拡大するイタリアの債務についてEUの財政規則違反と判断して是正手続き開始を勧告したこと、5月米ISM非製造業指数が予想を上回ったことで、1.1220ドルまで反落した。

ユーロ円はほぼ横ばい。終値は121.71円と前営業日NY終値(121.68円)と比べて3銭程度のユーロ高水準。19時30分前に122.27円と5月28日以来の高値を付けたものの、欧州委員会がイタリアへの是正手続き開始を勧告と失速し、121.55円まで反落した。

カナダドルは軟調。米エネルギー省が発表した週間在庫統計で、原油在庫が予想に反して増加、ガソリン在庫が予想以上に増加したことで原油先物価格が急落し、産油国通貨カナダドルが売られた。米ドルカナダドルは1.3428カナダドル、カナダドル円は80.56円までカナダドル安に振れた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米・メキシコの協議決裂で軟調推移か

本日の東京市場のドル円は、米国とメキシコが関税・移民問題で合意出来なかったこと、米中貿易戦争や米連邦準備理事会(FRB)の利下げへの警戒感から軟調推移が予想される。

ドル円のニューヨーク市場の高値は108.49円までだが、108.50円ではドル売りオーダーと本日のNYカットオプションが上値を抑えているものの、上抜けるとストップロス買いが控えており要警戒か。

5月30日、トランプ米大統領は、「国際緊急経済権限法(IEEPA)」に基づき、メキシコが国境からの不法移民流入に十分に対応していないとして、「不法移民流入が止まるまで」という条件付きで、6月10日からメキシコからの全輸入品に対して5%の制裁関税かける、と宣言した。そして、移民問題が解決しなければ、7月1日に10%、8月1日に15%、9月1日に20%、10月1日に25%に達するまで段階的に継続する、とした。

ニューヨーク市場では、ナバロ米大統領補佐官が「対メキシコ関税発動は必要ない可能性」と述べ、グラスリー米上院財政委員会委員長が「米国はメキシコに関税を課さない見通し」と述べたことで、制裁関税が回避される期待感が高まっていた。しかし、ペンス米副大統領、ポンペオ米務長官とエブラルド・メキシコ外相との協議では、制裁関税や移民問題で合意出来なかったことで、6月10日からの制裁関税発動の可能性が高まっている。

また、米連邦準備理事会(FRB)の利下げ観測の高まり、米中貿易戦争や日米通商協議への警戒感がドル円の上値の抑える構図は続いている。

米中貿易戦争に関しては、6月28-29日の大阪サミットでの米中首脳会談に向けたカウントダウンが始まっているが、中国はレアアース(希土類)の対米輸出規制を警告し、米中通商協議開催の予定もないことで、予断を許さない状況が続いている。

日米通商協議に関しては、本格的な交渉は7月の参議院選挙後に決着が先送りされたものの、来週10-11日にワシントンで実務者による農産物、工業製品に関する貿易交渉が行われる模様で、米商務省の「為替相殺関税」も絡んで予断を許さない状況が続くことになる。また、今週末8-9日に福岡で開催されるG20財務相・中央銀行総裁会議では、ムニューシン米財務長官と麻生財務相が「為替条項」に関して会談する、と報じられており要警戒か。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）

○17:25 ◎ 黒田東彦日銀総裁、講演

<海外>

○10:30 ◇ 4月豪貿易収支（予想：51億豪ドルの黒字）

○15:00 ◎ 4月独製造業新規受注（予想：前月比0.1%／前年同月比▲5.9%）

○15:15 ☆ インド中銀、金融政策決定会合（予想：5.75%に引き下げ）

○18:00 ☆ 1-3月期ユーロ圏域内総生産（GDP）確定値（予想：前期比0.4%／前年比1.2%）

○18:00 ◎ 1-3月期南アフリカ経常収支（予想：1545億ランドの赤字）

○18:00 ◎ カーニー英中銀（BOE）総裁、東京で講演

○20:30 ◇ 5月米企業の人員削減数（チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス社調べ）

○20:45 ☆ 欧州中央銀行（ECB）定例理事会、終了後政策金利発表（予想：0.00%に据え置き）

○21:30 ☆ ドラギ ECB 総裁、定例記者会見

○21:30 ◇ 4月カナダ貿易収支（予想：28億カナダドルの赤字）

○21:30 ◇ 1-3月期米非農業部門労働生産性・改定値（予想：前期比3.5%）

○21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：21万5000件／166万人）

○21:30 ◎ 4月米貿易収支（予想：507億ドルの赤字）

○21:40 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演

○23:00 ◇ 5月カナダ Ivey 購買部協会景気指数

○7日 02:00 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演

○6-7日 ◎ 5月ロシア CPI（予想：前月比0.3%）

○米財務省 3年、10年、30年債入札条件

○韓国（戦没者慰霊日）、トルコ（砂糖祭）、スウェーデン（建国記念日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

5日 08:53 習・中国国家主席

「中国はあらゆるリスクと課題に対応する能力、自信がある」

「中国のマクロ経済政策には対応する十分な余地がある」

5日 08:55 米財務省報道官

「ムニューシン米財務長官が日本で開かれるG20 会合で易綱中国人民銀行(中央銀行)総裁と会談予定」

5日 09:13 トランプ米大統領

「メキシコに対する関税措置は、単なる脅しではない」

「イランに対する軍事行動の機会はいつでもあるが、話し合いを望んでいる」

「(通商問題)中国もメキシコも米国と合意したがっている」

5日 10:28 安倍首相

「内需を支えるファンダメンタルズはしっかりしている」

「リーマンショック級の出来事ない限り10月に消費増税」

5日 10:36 NZ 準備銀行(中央銀行、RBNZ)総裁補佐

「近い将来まで金利は現在の水準が維持されるだろう」

「中銀目標の達成のために状況の変化に適応すべき」

「もし必要であれば更なる刺激策も」

5日 14:05 甘利自民選対委員長

「日米貿易交渉を8月にまとめることは物理的に出来ない」

5日 16:05 国際通貨基金(IMF)

「中国の2019年GDP成長率を6.3%から6.2%へ、2020年を6.1%から6.0%へ引き下げ」

「中国は2024年までにGDP成長率が5.5%まで減速」

5日 19:38 ドンブロウスキス欧州委員会副委員長

「最近のイタリアによる政策は経済や財政に打撃を与えた」

「イタリアの成長は停止している」

「過剰財政赤字是正手続きは正当化される」

5日 20:01 モスコビシ欧州委員(経済・通貨担当)

「イタリアが懲戒手順を避けるためのドアはまだ開いている」

「懲戒を受けない方法を示すのはイタリア政府次第だ」

5日 21:40 エバンス米シカゴ連銀総裁

「経済のファンダメンタルズは依然として堅調」

「農産品への関税はそれほど大きくはない」

5日 22:11 ブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事

「米国の消費は強い。データを注視する」

「成長維持のため政策を調整する用意はある」

「貿易問題は経済にとって下サイドのリスク」

5日 22:40 ナバロ米大統領補佐官(通商担当)

「対メキシコ関税発動は必要ない可能性」

5日 23:22 ラガルド国際通貨基金(IMF)専務理事

「米中の緊張の高まりは世界経済にリスク」

「世界経済が鈍化した場合、各国は金融政策と財政政策を協調して対応すべき」

6日 00:01 コンテ伊首相

「2019年目標について合意するため、EUと建設的な協議を行うことを目指す」

「2019年財政赤字は対GDP比で2.1%になる見通し」

6日 00:41 米上院財政委員会のグラスリー委員長

「6日にメキシコと関税について合意する見通し」

「米国はメキシコに関税を課さない見通し」

6日 03:00 米地区連銀経済報告(ページブック)

「物価は緩やかな上昇が続く」

「雇用は全米で増加が続く、賃金は大半で緩やかに増加」

「経済は緩慢なペースで成長、わずかに改善がみられる」

「消費は総じて堅調」

「製造業は総じて堅調、一部で減速や先行き不透明感」

6日 07:02 格付け会社フィッチ・レーティングス

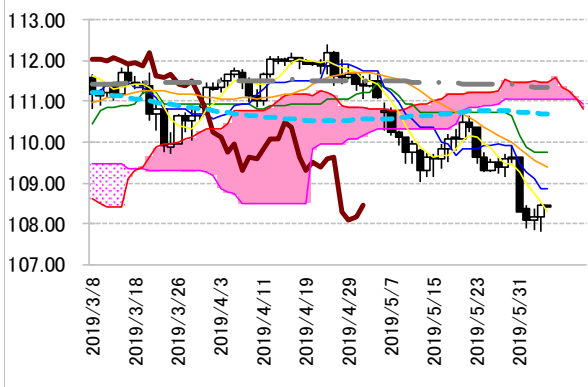
「メキシコをBBBに格下げ、見通しを安定的に変更」

6日 07:02 格付け会社ムーディーズ

「メキシコの見通しを安定的からネガティブに変更、格付けはA3で据え置き」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

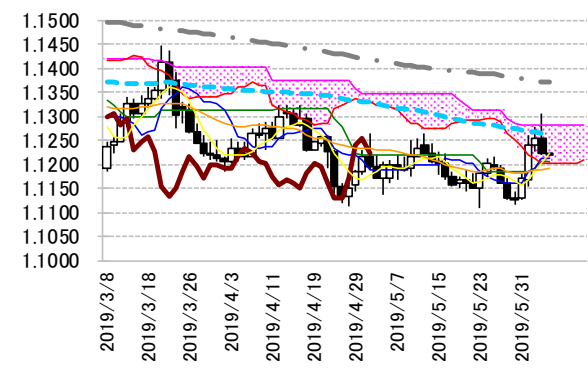


<ドル円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。ダブルトップ（112.14円・112.40円）形成後の窓（111.07円・110.96円）空け、目標値107.02円を目指す下落トレンドを形成中。底値圏での孕み線、2手連続陽線で反発の可能性が示唆されており要警戒か。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	108.88(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	108.46
サポート1	107.77(1/10安値)
サポート2	107.52(1/4安値)

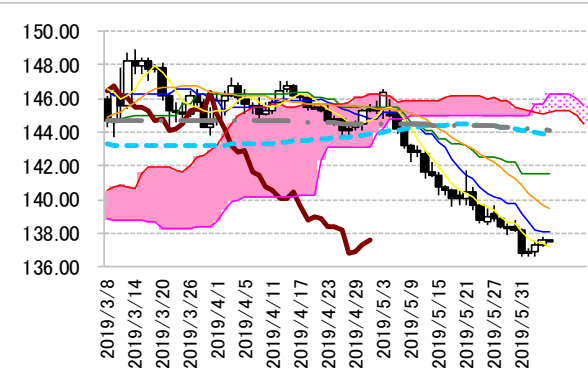


<ユーロドル=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の中で推移していることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、雲の上抜けに失敗し、高値圏での抱き線により反落の可能性が示唆されている。

本日は、一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1280(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1221
サポート1	1.1116(5/30安値)

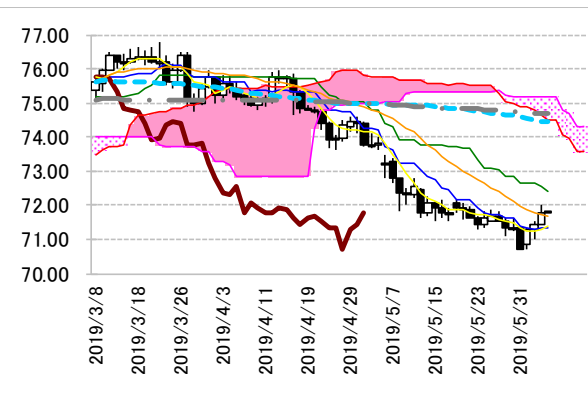


<ポンド円=4日安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、底値圏での抱き線、2手連続陽線で反発の可能性が示唆されている。

本日は、4日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	138.11(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	137.62
サポート1	136.56(6/4安値)



<NZドル円=5/31安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、底値圏での孕み線、3手連続陽線により、反発の可能性が示唆されている。

本日は、5月31日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	72.39(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	71.76
サポート1	70.68(5/31安値)

